

洪水ハザードマップ (詳細は24ページ以降参照)

知りたい場所の浸水リスクがWEBサイト上でわかります

Q 浸水ナビ

検索

本マップは、想定し得る最大規模の降雨が発生し、堤防の決壊等の河川はん濇が起きた場合を想定しています。

令和元年 9月発行

三島市 全域版

狩野川 大場川 来光川

洪水ハザードマップ

洪水浸水想定区域図【想定最大規模】

このマップは、狩野川水系狩野川、大場川、来光川を対象に、国土交通省沼津河川国道事務所及び静岡県沼津土木事務所が指定した、**想定し得る最大規模の降雨**による破堤点別の浸水想定区域を重ね合わせ、3つの河川がはん濇した場合に想定される**浸水の状況(最大浸水想定区域及び最大浸水深)**を表示したものです。なお、雨の降り方などによっては、マップに示した浸水想定区域以外において浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際と異なる場合がありますので、ご注意ください。
想定し得る最大規模の降雨(48時間総雨量)
 【指定年月日：平成28年12月15日(国)、平成31年3月29日(静岡県)】
 狩野川流域 黒瀬地点より上流 721mm、徳倉地点より上流 746mm、大仁地点より上流 828mm
 大場川流域 844mm 来光川流域 847mm

凡例

- City office 市役所
- Police station/Police box 警察署・交番
- Fire station/Branch fire station 消防署・分遣所
- Water level gauging station 水位観測所
- River surveillance camera 河川監視カメラ
- Designated Evacuation Shelter 指定避難所
- Designated Emergency Evacuation site 指定緊急避難場所
- Underpass アンダーパス
- Flood-prone spot 浸水常襲箇所
- National road 国道
- Prefectural road 県道

解説

- 指定避難所 避難した人が災害の危険性がなくなるまで滞在したり、自宅へ戻れなくなった人が一時的に滞在するための施設です。
- 指定緊急避難場所 災害の危険から命を守るために緊急的に避難する場所です。

浸水深による色分け

- 5.0m以上 (2階浸水)
- 3.0m以上 5.0m未満 (2階浸水)
- 3.0m
- 0.5m以上 3.0m未満 (1階床上浸水)
- 0.5m未満 (1階床下浸水)

土砂災害

急傾斜地の崩壊や土石流が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命、または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

急傾斜地の崩壊や土石流等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

早期の立退き避難が必要な区域

洪水が起きる際、命を脅かす危険性が高く、早期に安全な屋外への避難が必要な区域

家屋倒壊等氾濫想定区域

Flood flow 氾濫流

Bank erosion 河岸侵食

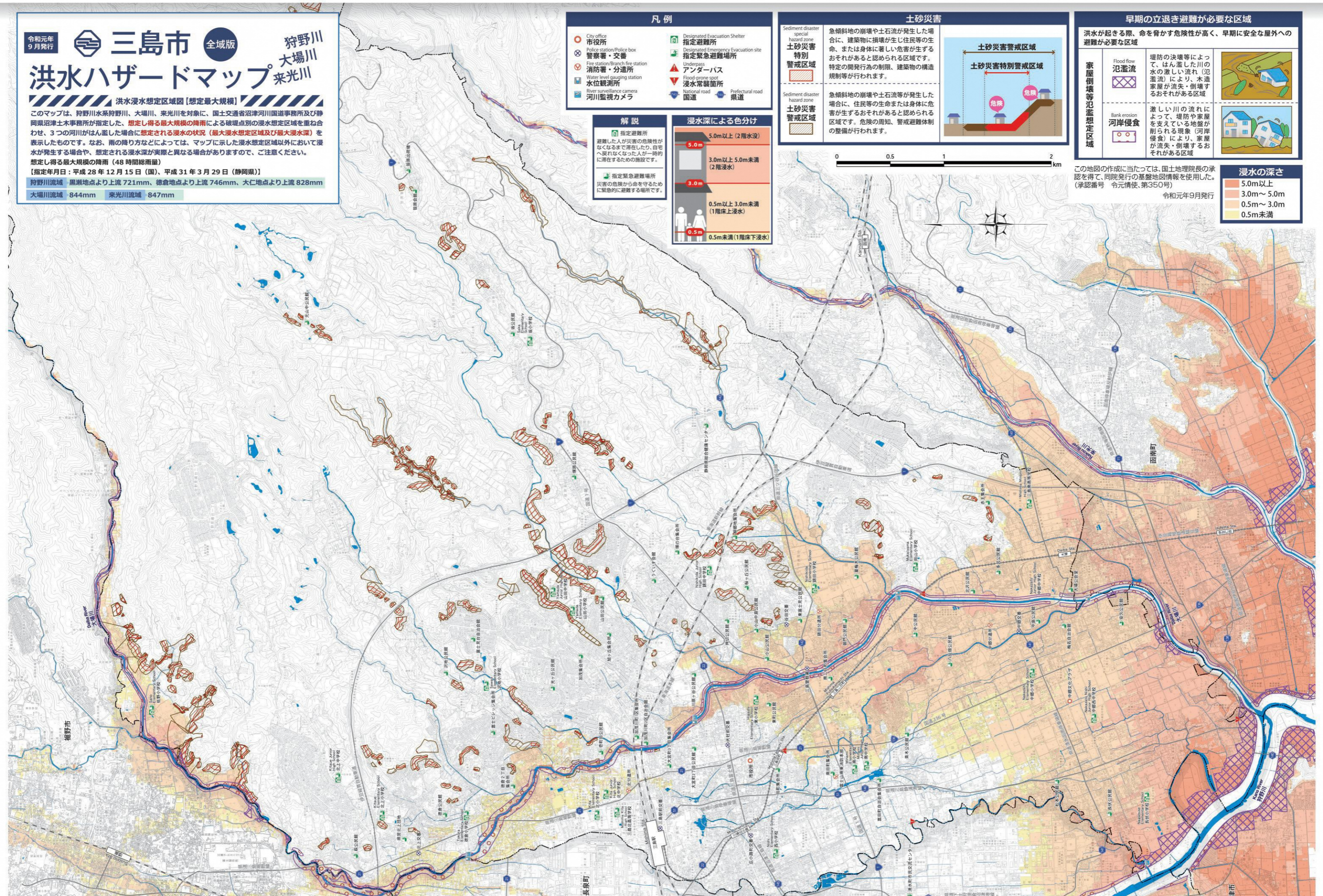
堤防の決壊等によって、はん濇した川の激しい流れ(氾濫流)により、木造家屋が流失・倒壊するおそれがある区域

激しい川の流れによって、堤防や家屋を支えている地盤が削られる現象(河岸侵食)により、家屋が流失・倒壊するおそれがある区域

浸水の深さ

- 5.0m以上
- 3.0m~5.0m
- 0.5m~3.0m
- 0.5m未満

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 令元情使、第350号)
 令和元年9月発行



風水害

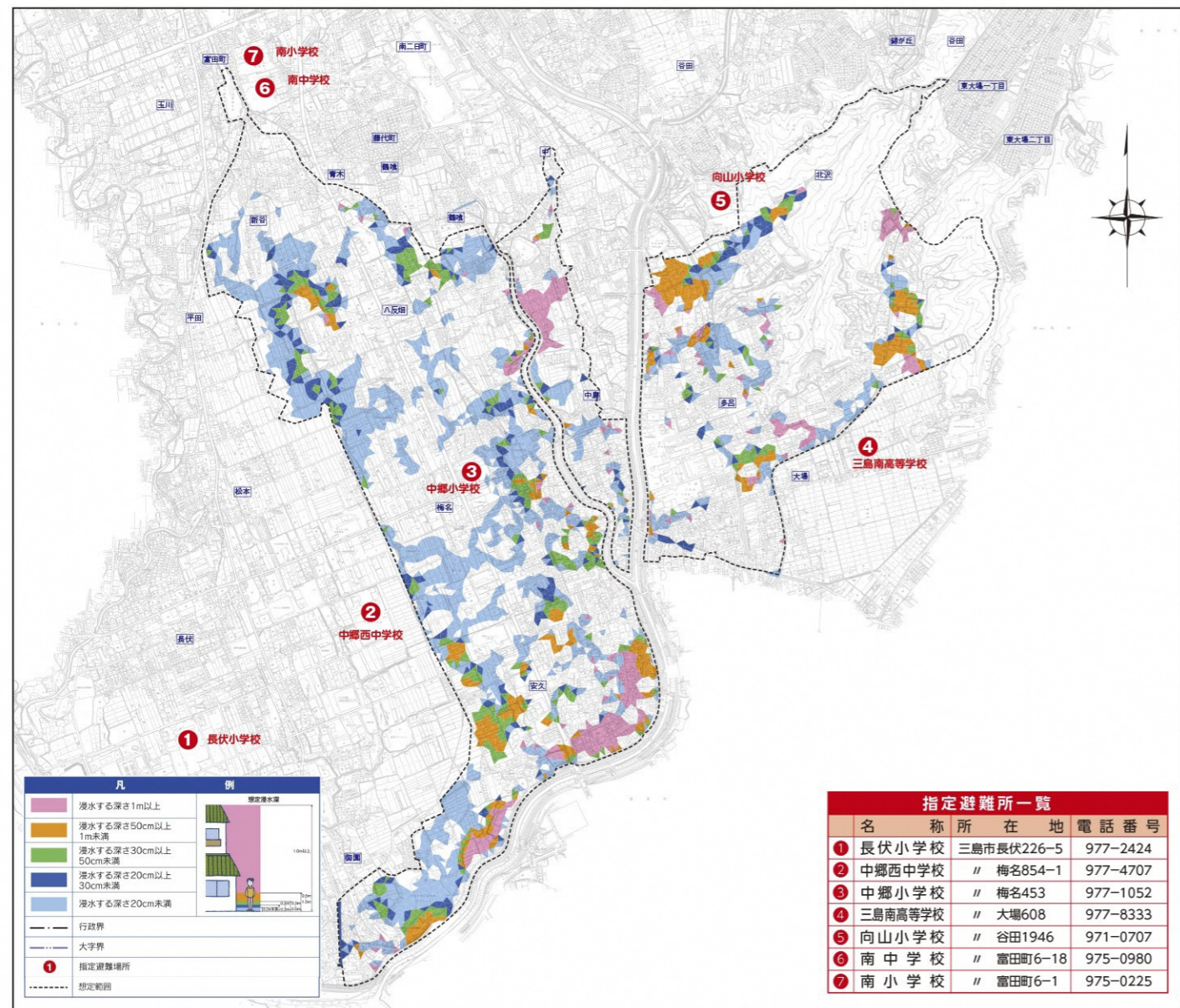
風水害

大場川流域での内水ハザードマップ

このハザードマップは、中郷地区の一級河川大場川流域で1時間に約77mmの大雨が発生したとき、河川の水位が上昇し、内水を排除できない場合を想定して策定しています。

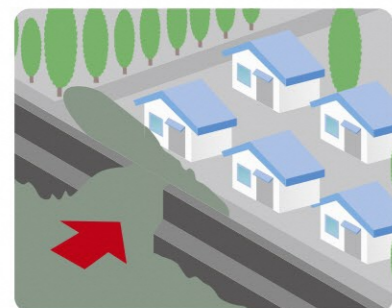
ハザードマップから浸水しやすい場所や状況を日頃から把握し、雨の降り方や浸水の状況に注意して、危険を感じたら早めに自主的な避難を心がけましょう。なお、雨の降り方によって、浸水する区域やその規模が異なります。

※本マップは想定範囲外の内水浸水状況を、考慮しておりません。想定範囲外におきましても、内水浸水は発生する可能性がありますのでご注意ください。

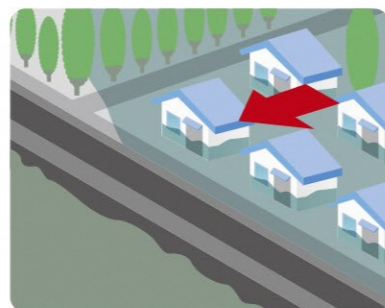


平成24年3月発行

外水はん濫・内水はん濫とは

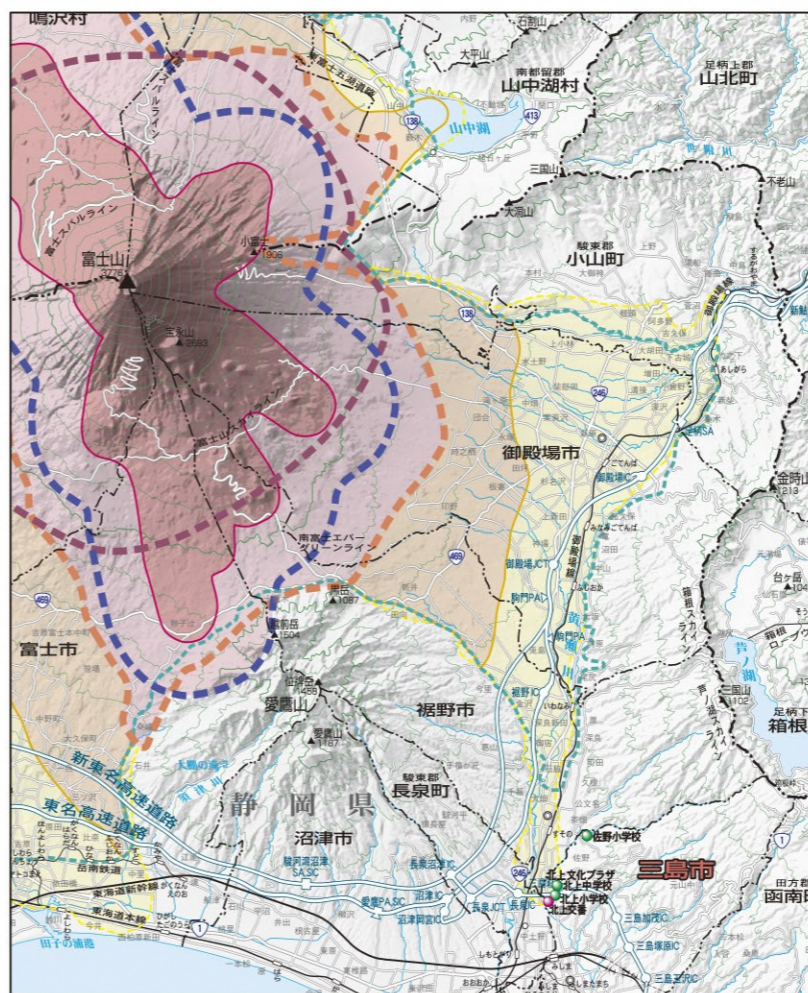


外水はん濫
増水した河川の水位が堤防の高さを越えたり、堤防が河川の流れによりけずられて決壊し水が流れ込むことです。



内水はん濫
河川から水があふれるのではなく、降った雨を河川へ排水しきれなくなり排水路などから水があふれることです。

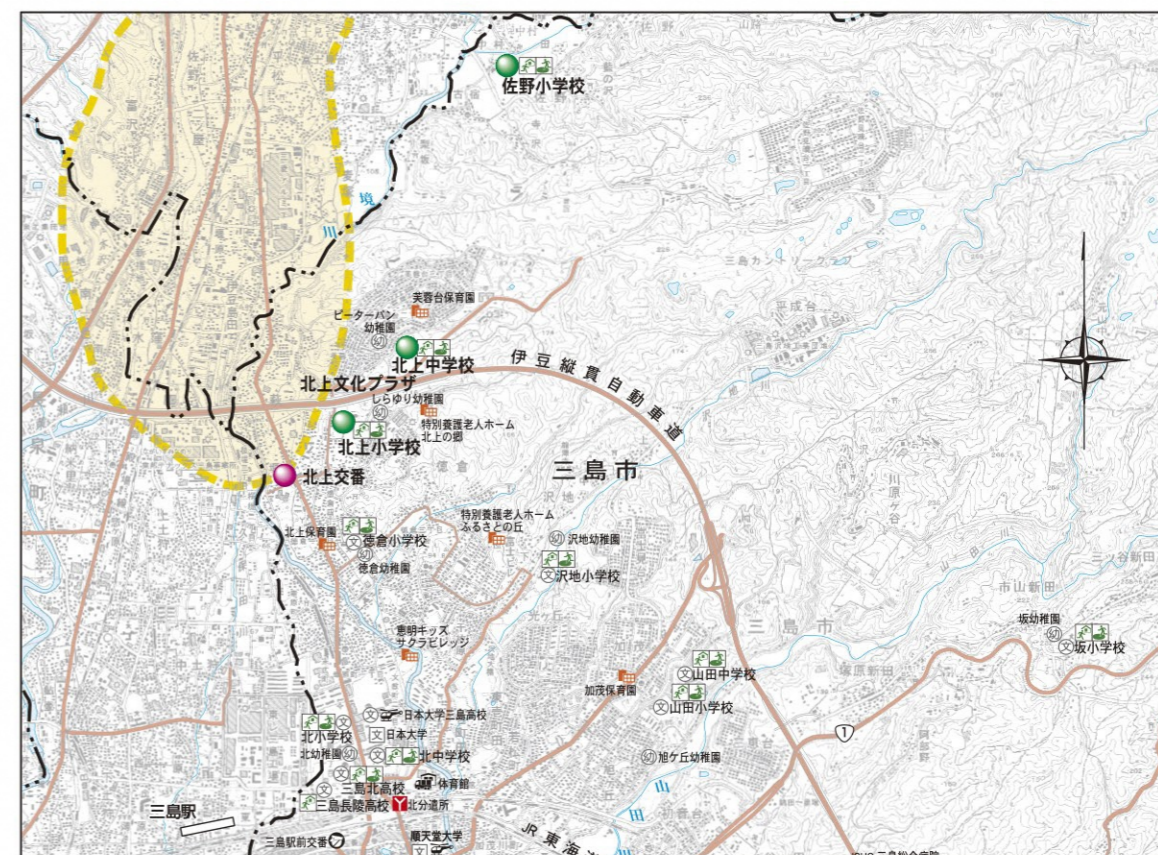
富士山火山防災マップ



図の見方

- 火口ができる可能性の高い範囲 (この範囲のすべてでなくどこかに火口ができます。)
- 噴火しそうな時、噴火が始まった時すぐに避難が必要な範囲を示しています。(噴火した場合に、下の3つのどれかに当てはまり、すぐに危険になる範囲です。)
- 火砕流が発生したときに、高熱のガスが高速で届く範囲
- 火口から噴出した石がたくさん落ちてくる範囲(この範囲外にも、まれに、10cm未満の小石などが飛ばされることもあります。)
- 溶岩が流れ始めた場合に、すぐ到達するかもしれない範囲 (3時間程度を想定)
- すぐ危険にはなりませんが、火口位置によっては避難が必要な範囲です。公的機関から出される避難情報に注意して下さい。また、避難に時間のかかる人(お年寄りや入院患者等)は早めに避難して下さい。(溶岩が流れ続けた場合に、1日くらいで到達するかもしれない範囲を示しています。)
- 雪が積もっている時に噴火しそうになった場合に、沢や川には近寄らないようにする必要があります。(積もった雪が火砕流により溶かされた場合、発生した泥流が沢や川沿いであふれるおそれのある範囲を示しています。)
- すぐに危険になるわけではありませんが、たいへん大きな噴火の場合に避難が必要になることが想定される範囲です。公的機関から出される情報に注意して下さい。(溶岩が流れ続け、数日間以上で流れ下る範囲を示しています。)
- 避難場所 消防署・警察署
- 鉄道 国道 高速道路

- 凡例
- 緊急輸送路
 - 避難地
 - 避難所
 - 福祉施設(避難所)
 - 広域物資拠点
 - 自衛隊集結地
 - ヘリポート
 - 市役所
 - 支所・役場
 - 消防署
 - 分署・分団詰所
 - 警察署
 - 交番・駐在所
 - 災害拠点病院
 - 幼稚園
 - 小学校
 - 中学校
 - 高等学校
 - 大学・短期大学



平成30年11月発行